

PQ-10 CR-PC10D FC-5

- パネル上の10キーを見ると、8番9番のキーだけが白抜き数字になっている。
- 8番9番にメモリーされたものだけが待ち受け群番号である。
- メモリー方法だが、以下のように行う。

(以下は群番号09088を8番にメモリーする場合。)

- ① リセット(RST)キーを押す。→「ピッ」という電子音と共に、表示が
-----になる。ならないときはもう一度リセットキーを押す。
- ② 0を押す。→ ----- 0 (ピッ)
- ③ *を押す。→ ---- 0H (ピッ)
- ④ 8を押す。→ 表示が元のメモリー番号(例えば00000)になる。 (ピッ)
- ⑤ 0を押す。→ ----- 0 (ピッ)
- ⑥ 9を押す。→ ---- 09 (ピッ)
- ⑦ 0を押す。→ -- 090 (ピッ)
- ⑧ 8を押す。→ - 0908 (ピッ)
- ⑨ 8を押す。→ 09088 (ピッ)

マイクのSELECTスイッチを押すと、メモリーした群番号が順番に現れる仕組みだ。

6種類のファンクションが有る。

リセットキーを押し、表示が-----になったら、以下の操作でスペシャル・ファンクションが設定できる。(スペシャルだからといって別のことを期待してはいけない。)

- 電子音音量調整
 - 1*1→電子音大
 - 1*0→電子音小
- 電子音消去
 - 2*1→電子音あり
 - 2*0→電子音なし
- 表示輝度調整
 - 3*1→暗い
 - 3*0→明るい
- 群番号表示消去
 - 4*1→群番号表示あり
 - 4*0→群番号表示なし
- キーロック(8番にメモリーした群番号しか使えなくなる機能)
 - 5*1→キーロック
 - 5*0→キーロック解除
- セットロック(暗証番号を入力しないと、一切の動作をしない機能)
 - 0番に群番号メモリーと同じ方法で暗証番号を入力。次に6*1でセットロックされるから、電源を切る。次に電源を入れると“input your code”が3回繰り返して表示された後、暗証番号を入力しない限り、表示は”code”のままとなる。交信はもちろん、モニターすらできない。セットロックを解除する時は、暗証番号を入力して無線機を動作状態にした後、6*0を押し、どれでもいいから数字キーを押す。
- 誤動作をすると「ププ」という電子音をする。

- 待ち受け群番号の切り替え
 - 8 * 0 表示されている群番号と、メモリーの9番に入っている群番号で待ち受け。
 - 8 * 1 メモリーの8番に入っている群番号とメモリーの9番に入っている群番号で待ち受け。
- #は群番号00000

スペシャル機能

平チャンネル - 44 ~ 90 ch

- 待ち受け群番号切り替え
 - 4 * 1 → 群番号すべて待ち受け00000 ~ 99999まで全部。
 - 4 * 0 → 8 * 0 または 8 * 1 で設定した群番号で待ち受け。
- 5 * 0 → チャンネル表示なし。

スペシャルに設定した後、どれか数字キーを押し、続いてチャンネルをふた桁で入力し、モニターキーを押すことで、希望のチャンネルになる。

設定時のみチャンネル表示をする。 — — — 59 と表示する。

スペシャルに設定した後、どれか数字キーを押し、続いて希望の群番を押すことで、群番号設定ができる。
- 5 * 1 → チャンネル表示をする。
 - モニターを押すと、直ぐにチャンネルを表示する。 — — 59 — と表示する。
 - *を押すとハーフチャンネルずつ下がる。 — — 59 L と表示する。
 - #を押すとハーフチャンネルずつ上がる。 — — 59 H と表示する。
 - RCLキーを押すと1チャンネルずつ下がる。 — — 58 — と表示する。

送信後には、本来のリコールキーになる。

MONキーを押すと1チャンネルずつ上がる。 — — 60 — と表示する。

どれか数字キーを押し、続いてチャンネルをふた桁で入力し、モニターキーを押すことで、希望のチャンネルになる。
- 6 * 0 → 群番号の解読なし。
- 6 * 1 → 群番号の解読。

群番号解読はモニター状態もしくは、通話状態でATIS信号を受信したときに表示し、次の信号を受信するまで表示する。
- 1 * 1 → リコールカット
- 1 * 0 → リコール可能